第１回　杜のみやこ工芸展 審査員

工芸評論家・多摩美術大学教授

外舘和子

とだて　かずこ

東京都生まれ。
筑波大学卒業。
工芸評論家。工芸史家。
日展・日本伝統工芸展・韓国国際陶磁ビエンナーレなどの審査員を務める。
昭和 63 年　茨城県近代美術館学芸員
平成 11 年　茨城県陶芸美術館主任学芸員
平成 18 年　茨城県つくば美術館主任学芸員
平成 30 年　多摩美術大学教授
令和 元 年　愛知県立芸術大学客員教授兼任

第１回杜のみやこ工芸展に寄せて

「杜のみやこ」という響きは、豊かな自然と洗練された知性・感性を連想させます。
工芸とはまさに素材の自然と共同し、作者の創意と、経験に培われた技とを注ぎ込むことで新たな姿かたちを具現化する行為です。そして「制作したもの」は「発表すること」「第三者に見られること」で初めて「作品」になり「表現」になります。自ら選んだ素材に、創意と技術と情熱の限りを尽くして挑んでください。
観る人の魂を揺さぶるような作品、心震えるようなときめきを覚える作品は、作り手の大いなる挑戦から生まれます。記念すべき第 1 回展に並ぶ作品が、昨今の閉塞感を打開し、私たちの豊かな未来を予感させるようなものであって欲しいと思います。